



金沢に生きる家。
金沢で生きる伝統。

人と心を、 結ぶ。



金沢には粋な生活文化があります。
伝統的なものづくりの技術があります。
金沢のまちで生まれ、金沢の人が育くみ、
金沢を彩ってきた美しい手仕事の数々。
今に伝わる丁寧な手仕事のおかげで、
金沢では毎日を上質に
暮らせるのかもしれない。



**金沢のまちがずっと
大切にしてきた
人を想う
優しいこころ**

細川 床の間をひろくしつら
えたり、座敷から庭を眺めら
れるようにするなど、金沢に残
る古い住まいは、住まう人だけ
でなく、客人をおもてなしす
る心を大切にしてつくられて
きました。その金沢らしいおも
てなしの心を今も受け継いでい
るつが加賀水引ですね。

津田 水引と聞くと堅苦しい
とか、敷居が高いように思いが
ちですが、「水引の本質は、相
手とのコミュニケーションなん
です。」水引折型の基本は、和紙
で「包む」、水引で「結ぶ」、差
し上げる理由・気持ち・名前を
「書く」こと。つまり、相手を大
切に想う心が水引として現れ
ているのです。例えば、婚礼の
前に贈られる結納品にも二つ
に意味があり、見た目の美し
さに相手を想う気持ちが現れ
ているのです。

細川 この見た目の美しさを
家づくりに当てるはめるなら、ま
さに「美観」です。どんなに構造
が強く、高機能な住まいであつ
ても、デザインが劣っていたら、
暮らしをたのしむことはでき
ません。伝統的な格子や染めの
技法などを用いて、情緒ある金

ほそ川建設 細川 顕司
代表取締役
1978年 金沢市生まれ。大学卒
業後に株式会社大林組に入社。2008
年にほそ川建設に入社し、2015
年から代表取締役社長に。



加賀水引 津田 六佑
五代
1981年 金沢市生まれ。大学卒
業後、WEB関連企業でWEBデザ
インなどを手がけ、2014年に家
業である加賀水引を継ぐ。

沢のまち並みに溶け込むよう
な落ち着いた美しさを追求し
ています。流行りのスタイルを
追い求めても、きつとつか飽き
がきます。この金沢のまちで、
お客さまに上質な暮らしをい
つまでもたのしんでいただくた
めに、ほそ川建設は金沢の地で
脈々と受けつがれてきた美しい
文化を大切にしたいのです。

**相手を想う心を
折り目なく
ふっくらとした
形にした加賀水引**

津田 一本の紙紐をもとにし
て、ご祝儀袋や贈答品に美し
く結ばれる水引。日本特有の
飾り紐ですが、金沢の水引は
特にふっくらとした優美な形
が特徴です。そして、この加賀
水引の包み方と結び方を考案
したのが、大正時代のはじめに
金沢で結納業をはじめた初
代・津田左右吉。左右吉は、そ
れまで主流だった平面的な小
笠原流の水引折型を熱心に学
ぶ中で、和紙を端正に折らない



ポリユームのある立体的な包み
方を完成させました。現代に
おいて全国的に主流となった立
体的な水引のルーツは、この左
右吉の水引折型の影響を色濃
く受けているのです。

**「機能」「美観」「構造」を
美しく調和させた
金沢らしい
上質な住まい**

細川 水引きの技術も進化し
ているのですね。金沢の多湿な
気候でも快適に過ごせるよう
に取り入れた高断熱・高气密・
計画換気の「機能」。現代のライ
フスタイルにマッチした金沢ら
しい上質な「美」。石川県産の木
材を出来る限り使用した高耐
震の「構造」。これらの家をつ
くる上で欠かせない「機能」「美
観」「構造」の三つの要素を美し
く調和させた住まいが、ほそ川
建設の「金沢に生きる家」です。
金沢の気候、風土にしっかりと
なじみ、そして金沢らしい上質
な暮らしを叶える住まいをご
提案していきたいと思えます。

